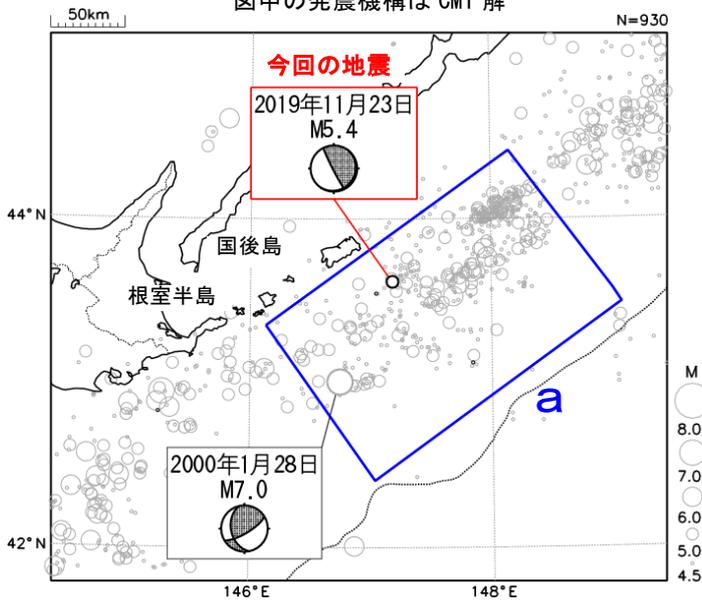


11月23日 北海道東方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2019年11月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.5$)
2019年11月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



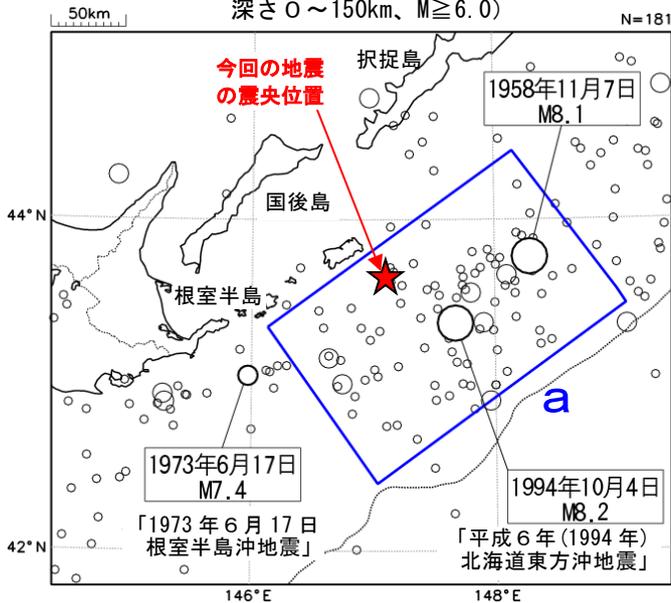
2019年11月23日21時58分に北海道東方沖でM5.4の地震（最大震度3）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が東北東－西南西方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（左上図の領域a）では、M5.0以上の地震が度々発生しており、最大規模の地震は、2000年1月28日に発生したM7.0の地震（最大震度4）で、負傷者2人の被害が生じた（総務省消防庁による）。

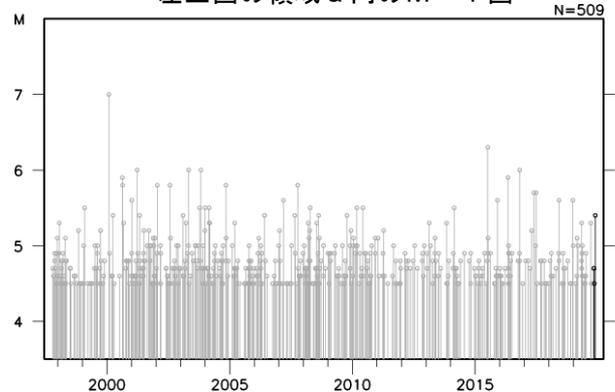
1922年以降の活動をみると、左下図の領域aでは、M7.0以上の地震が時々発生しており、M8.0以上の地震が2回発生している。1994年10月4日に発生した「平成6年（1994年）北海道東方沖地震」（M8.2、最大震度6）では、根室市花咲で168cmの津波を観測するなど、北海道から沖縄県にかけて津波を観測した。この地震により、北海道では負傷者436人、住家被害7,519棟等の被害が生じた（「平成6・7年災害記録（北海道）」による）。

震央分布図

(1922年1月1日～2019年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



左上図の領域a内のM-T図



左下図の領域a内のM-T図

